

新幹線プレス 	2025 年 8 月 21 日		No.716
	発行者	伊 藤 一 也	
	編集者	教 宣 部	
	J R 東海 労新幹線地本		

走行中の“こだま号”床下で火災発生！

原因究明と再発防止策を求めて

団体交渉開催を申し入れ！

車両の側カウルが走行中に落下するという事故に続いて、8月15日今度は、米原～岐阜羽島間を走行中のこだま764号9号車付近で床下から煙が出ているのが見つかり、岐阜羽島駅で消防車による消火作業が行われおよそ2時間後に鎮火するという大変な事態が発生しました。

乗客およそ250人にケガはなく、全員列車から降りて後続の列車に乗り換えました。

焼損箇所は9号車の主変換装置であった事が判明しています。

新幹線地本は8月20日原因究明と再発防止対策の確立をもとめ急に団体交渉を開催することを申し入れました。

申し入れ要旨

- 事故の経過を時系列で詳細に明らかにすること。
- 車両の損傷状況について詳細に明らかにすること。
- 検修履歴および損傷箇所の作業内容について明らかにすること。
- 負傷者の有無および旅客対応について明らかにすること。
- 事故の原因について明らかにすること。
- 再発防止対策について明らかにすること。